

東京ケーブルネットワーク株式会社
放送番組審議委員会議事録

開催日時 平成29年5月15日
(15:00～17:00)

開催場所 東京ケーブルネットワーク本社会議室

放送番組審議委員

委員長 … (荒川区) 小泉定弘
委員 … (文京区) 渡辺泰男、野堀勝明
(荒川区) 斎賀靖佳
(千代田区) 中村建夫、林勇
(委員総数：6人)

当日出席委員 … 小泉定弘、渡辺泰男、野堀勝明、中村建夫、林勇
(出席委員数：5人)

当日欠席委員 … 斎賀靖佳
(欠席委員数：1人)

東京ケーブルネットワーク株式会社

代表取締役社長執行役員	土井良一
取締役常務執行役員	松崎剛
制作部次長	瀬間健司
制作部番組・編成担当	松尾遼
事務局(書記)	三山巖
司会・議事進行	大野寛子

議事内容

1. 委員会開始の挨拶、出席者紹介、番組審議委員メンバー紹介、配布資料説明

2. 社長挨拶（土井社長）

日頃コミュニティチャンネルを視聴いただいた上での忌憚のない発言をお願いします。昨年も触れましたが、4K8Kを遅れることなく進めると同時に、FTTH（Fiber To The Home）化の工事も進めています。現在、2,000件以上、10パーセントがFTTH化されている状況です。オリンピックが始まる2020年には、文京区、荒川区の工事は終える予定です。千代田区については検討中の段階です。

また、防災、医療などにおいてもコミュニティチャンネルは貢献できているため、あわせて進めてまいります。

昨年に続き、全社的なイベントとして、フォトコンテスト、少年野球大会を開催すると同時に、生中継にも力を入れてまいります。

3. 当社の取り組みについてご報告（松崎常務）

コミュニティチャンネル放送の取り組みについてですが、引き続き地域密着をこころがけており、生放送を積極的に行っていく予定です。昨日、一昨日と神田祭を中継したと同時に、インターネットでもあわせて配信を行いました。再生回数は、1～3万件近くに上り、とても高い数字と言えます。このことから、生中継は意義があると考え、今後も進める予定です。

生中継は、祭りだけではなく、（文京）花の5大まつりも行います。あわせて、インターネットでも定点カメラを付けて配信を行っています。これらのアクセス数も多くありました。

今年で4年目となりますが、6月からは高校野球のチーム紹介番組を放送します。こちらもインターネットで合わせて配信する予定です。また、東京大会の予選についても他のケーブルテレビ会社と共同制作で放送します。

今年に入り、警察署職員のインタビューなどを放送しています。特殊詐欺被害が多いため、TCNとしてできることはないかと相談を受け、出演いただいた上で、最新の手口や被害に遭わないための撃退方法を紹介しています。

イベントとしては、フォトコンテストの8回目を予定しています。また、三区親善少年野球大会も重要な取り組みとして盛り上げていく予定です。

4. 番組放送のより細かい取り組みについて（瀬間）

- ・地域の安全安心に関する取組について

防災行政無線の補助サービスとして、一昨年(2016)の4月より開始しています。本件は、ご自宅のテレビで防災行政無線が聞こえづらい時に、テレビから防災行政無線の音を明瞭に聞くことができるサービスです。現在、文京区・荒川区で稼働しており、千代田区に關しましては、区役所に提案中です。但し、本年(2017)の4月・5月に關しましては、実験でシステムは稼働しております。また、聞き逃しの際の電話番号は、地デジ11c hと黄色ボタンと表記しています。

・科学情報番組の制作

平成27年6月より、「ILC科学少年団」という子供向け科学啓蒙番組を制作しています。これまでの番組制作・放送を踏まえて、今年度より四半期に1本の制作に変更し、エンタメの要素を含ませて放送します。番組のテーマは、本年末か来年早々に実施の可否が決まる予定の国際リニアコライダー計画についてのPRとなっています。番組スポンサーは「先端加速器科学技術推進協議会」となります。制作した番組は、全国のケーブルテレビ局に提供し、現在までおよそ1,600万世帯で放送しました。今年の8月には東北ロケも予定しており、地元の東北ILC推進協議会とも連携し、従来の枠組みとは違う番組作りを行います。

・地域情報発信促進のためのインターネット配信の活用について

昨年4月より、動画配信のYouTubeを活用し、インターネットでしか見られないライブ配信を開始しました。「Re:あらぶんちょ」というトーク番組であり、その週に出演いただいたタレントがロケの裏話などについて語る約1時間の番組です。月1回、ライブ配信を今後行う予定です。

・第99回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 共同制作の取組

昨年も実施したもので、共同制作の取組も次第に定着してきたと自負しています。弊社は、サービスエリアの出場予定校に事前取材を行い、部活紹介として毎回特別番組を放送しています。選手はもとより保護者にも人気の番組となっています。試合の中継は、今年で4年目となり、東東京大会の江戸川区球場から行っています。今年は1回戦から4回戦まで24試合を放送する予定です。なお、6月18日は抽選会を生中継します。また、試合開催日の21時から東西大会のダイジェストを生放送する予定です。東東京大会の放送の視聴可能世帯数は313万世帯となっています。

5. 昨年度の番組の放送内容と今後の方針について (松尾)

毎年この場の司会も行っていた佐藤圭一キャスターが昨年度末をもって弊社を退職しました。6年という期間で、審議員の皆様にも取材などで多々お世話になりましたことを、改めて感謝します。

平成28年度は出演者オーディションを行い、多数の新たな出演者を実験的に起用しています。メインであるトピックス、街の情報番組に關しては「あらぶんちょ!ぷらす」と名を改め、新キャスターとして文京区出身の梅澤真理子を起用、佐藤圭一と二人体制での番組といたしました。

情報バラエティとして視聴者の方からご好評いただいております、あらぶんちょ！に関しては、引き続き地域情報を主題にしながらも、様々な年齢層やコミュニティへアプローチするコーナーづくりを行っております。例えば、弊社はアイドル文化の中心地とも呼べる秋葉原を有しているため、アイドルを起用した番組を開始したところ、若年層が多いインターネット上のツイッターでは、ツイートがユーザーに見られた回数が1年間で10倍以上となり、アイドルファンの若者がアイドルを通じて弊社や弊社エリアへの興味関心を持っていただけていることが数値的にも見えてきており、また、番組内でアイドルが紹介した店舗や場所へファンが訪れるという現象も起きています。

<28年度新コーナーの映像紹介>

大型生中継としては湯島天神例大祭生中継、山王祭 連合渡御・宮入生中継、根津神社例大祭の生中継を実施しました。特に根津神社例大祭に関しては、今回初の連合宮入となるため、不忍通りに並ぶ神輿の列を上空からおさえ、ご好評をいただきました。28年度の特徴としては、インターネットのYouTubeを活用した映像の生配信が大きな成果となりました。大型生中継に関してはインターネットでも同時配信を行い、湯島例大祭が1,900、根津神社例大祭が3,500という視聴回数を記録。高校野球やわんぱく相撲など、以前から再生回数が高いキラコンテンツもあるものの、28年度はテレビで放送したものを後からインターネットで公開するという形だけでなく、生放送と同時配信した点が大きな違いです。また、コミュニティチャンネルでの放送を行わずインターネットのみで生配信する番組にも挑戦し、こちらも再生回数1000回、生配信中の同時視聴者数が60を越え、27年度までと比べると大幅に増加しました。

コミュニティチャンネルはケーブルが接続されている家庭向けに放送しているもので、収益が無いに等しいインターネット上で無料にて見せることに対し、必ずしも答えが見つからないわけではないものの、視聴回数という目に見える形で何が人気なのかわかる点や、双方向でダイレクトに視聴者の意見を受けられる点もあり、今後ますますテレビ離れが進むといわれている中で、コミュニティチャンネルとインターネットの融合や、インターネットを活用した地域番組、地域の安全安心に関する取り組みなど、試行錯誤を繰り返しながら新たな道を模索しているところです。

本年度も新たな進化を常に考え取り組んでいきます。新年度から、地域情報番組である、あらぶんちょ！ぷらすは毎週土曜日の午前に生中継形式をとっており、毎回不安定ではあるものの、地域のため、視聴者のために番組作りを続けてまいります。

6. 各委員からのご意見・ご要望

小泉委員長

先ほどから視聴者からの反響の多さについて説明がありましたが、その反響の多さに驚いているところです。

生放送の魅力は自分も感じている。また、生放送と同時にダイジェストを行う。これはセットで行うのが良い。野球についてもそうだが、親切なところみなので、是非二本立

てで進めて欲しい。

一時間以内に行ける場所の紹介番組について、これは非常に興味が惹かれる。これを見て、地域からは外れるが、短時間の小旅行ができるというのは、興味深く見る事ができた。

昨年よりも勝る努力はよく見えるし、インターネットとの融合などはその最たるところ。今後も更にこのような新しい企画を充実させて欲しい。

林委員

Q 昨年10月の飯田橋からの中継について、この番組を受けての結果、反響はどのようなものであったか、気になるので教えて欲しい。

A 群馬山村フェアといい、群馬県庁からの依頼で取材。物販、地元紹介などをさせていただいた。来場者は、それなりにあった。

Q 明治大学の企画について詳しく教えて欲しい。

A 日本郵政から依頼があったもの。今は郵便が少ないので、どうしたら手紙を増やすことができるかという企画があり、その発表会があった。取材には行けなかったが、先方からの映像提供があったため、それを弊社で編集の上で放送した。

Q 千代田区内での「まち歩きマップ」の企画についての内容は？

A 千代田区内の大学で、別の大学生と共同の上でマップを作成した。作成前に取材、作成後にも取材したという経緯。学生たちが作成したものを紹介したという趣旨。

Q 緊急時に、備蓄倉庫がある、このようなことを取材してもらうのは可能か？

A 可能。災害時の放送は、データ放送を活用するなど力を入れている。

中村委員

昨日、一昨日と神田祭の中継に感謝する。知人からも、自分が映っていたと報告があった。根津神社の宮入も、今回は初めて。宮入のシーンがあまり映っていなかった。他の祭りも、神輿は一通り全て撮って欲しい。湯島天神の祭りについても同様。

最近、インターネットなどで情報がとても速いので、生放送はとても有効なものと思える。

祭りをテレビで取材するのは問題ないが、自然なかたちでとって欲しい。ポーズなど細かく要求されることがあったが、それはあまりよくない。

野堀委員

私も根津神社の祭りには参加しており、また神田祭もテレビで拝見した。少人数でよくできていると感じた。

高校野球の中継とダイジェスト、この他にチーム紹介、これは三点セットであると言える。これが全てあって高校野球と思える。祭りについても、このような三点セットで行って欲しい。①神輿の事前取材、②祭りの中継本番、③ダイジェストとルーティン化すると、よりよい番組になると思われる。

昭和歌謡の番組は、TCNらしい番組と感じた。高齢化の時代にとってもよい試み。今後
もぜひ放送して欲しい。

インターネットとテレビの融合という意味でも、インターネットを積極的に利用して欲
しい。インターネットを見て、それでテレビでも放送していたということを知るとい
うルートもある。今の時代それでも問題ないと思う。

渡辺委員

祭りの中継が行われていることで、役に立ったのは、人がとても多くて混雑すると、け
がなどの危険性も出てくる。その方々に、自宅でテレビで見て下さいと呼びかけるこ
とができ、そのおかげもありトラブルも無く終了することができたのでとても良かった。
交通安全など町会の地道な活動についても、取り上げていただいて良かった。今後もお
願いしたい。

今年のおつしまつりについては、咲き状態がいまいちだったため残念だった。

7. その他の意見

野堀委員

とても良い番組をつくっているのですが、もっと見てもらう努力をされた方がいい。告知、
EPGの努力がいまいち不足しているように感じられる。

スポンサー収入などを集める努力が必要。それがなくなかなか番組制作にもつながら
ない。よく見られる番組では、広告収入なども得られるように努力すべき。

A 現状では、番組にスポンサーはついていない。高校野球中継などの共同制作や特別
番組でのみ提案を行っているような状況。

小泉委員長

過去の番組をダイジェストで放送する試みはどうか。番組をデータで残しておく必
要性があるが、過去のものも是非活用して欲しい。

A 全ての番組は難しいが、現在選定作業を進めているところ。

8. 閉会の挨拶（土井社長）

本日はありがとうございました。今後の番組づくりに活かしていきたいと考えておりま
す。地域の方々に、これまで以上に関心をもっていただくように努力してまいります。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

以 上